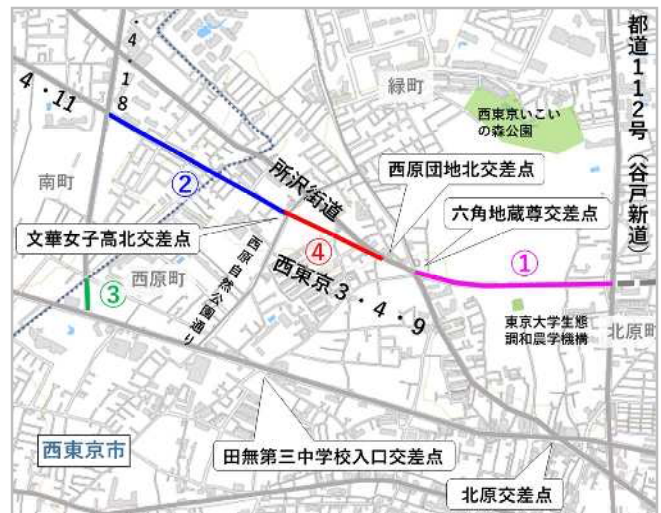


西東京3・4・9号及び東村山3・4・11号保谷東村山線等の開通による効果 ～開通から約6ヶ月後の利用状況～

東京都が整備を進めている地域幹線道路である西東京都市計画道路3・4・9号保谷東村山線のうち、所沢街道の六角地蔵尊交差点付近から西原自然公園通りまで付近までの約400m（開通④）の区間が、令和6年2月14日（水）に開通しました。

交通開放後に交通量調査等や地域の方々にアンケートを実施しました。

これまで、令和3年8月に西東京市北原町二丁目～西原町三丁目の約700m（開通①）、令和3年9月に西東京市西原町四丁目～東久留米市南町一丁目の約670m（開通②）、令和4年1月に西東京市西原町四丁目～東久留米市南町二丁目の約110m（開通③）を交通開放し、下記のようなストック効果※が得られましたので、お知らせいたします。



開通後の主な効果（別紙1，2参照）

○所沢街道の交通量が減少！

- ・所沢街道の交通量が開通前と開通後で約3割減少しました

≫ 開通前：約9,600台/12時間 ⇒ 開通後：約6,700台/12時間

○所要時間が短縮、移動が円滑に！

- ・前沢南交差点→六角地蔵尊交差点（上り） ≫開通前：約10分 ⇒ 開通後：約4分
- ・六角地蔵尊交差点→前沢南交差点（下り） ≫開通前：約8分 ⇒ 開通後：約4分

○北原交差点の渋滞が緩和！

慢性的に渋滞している北原交差点の渋滞が緩和されました

≫開通前：渋滞長約260m ⇒ 開通後：渋滞長約110m（ピーク時8時台）

道路利用者（地域住民や事業者等）の声

- ・新しい道ができることで目的地まで安全に早く行けるようになった
- ・所沢街道が狭く交通量が多かったのが分散して良くなった
- ・所沢街道より西側への移動がスムーズになった
- ・六角地蔵尊交差点を渡るのが不便になった

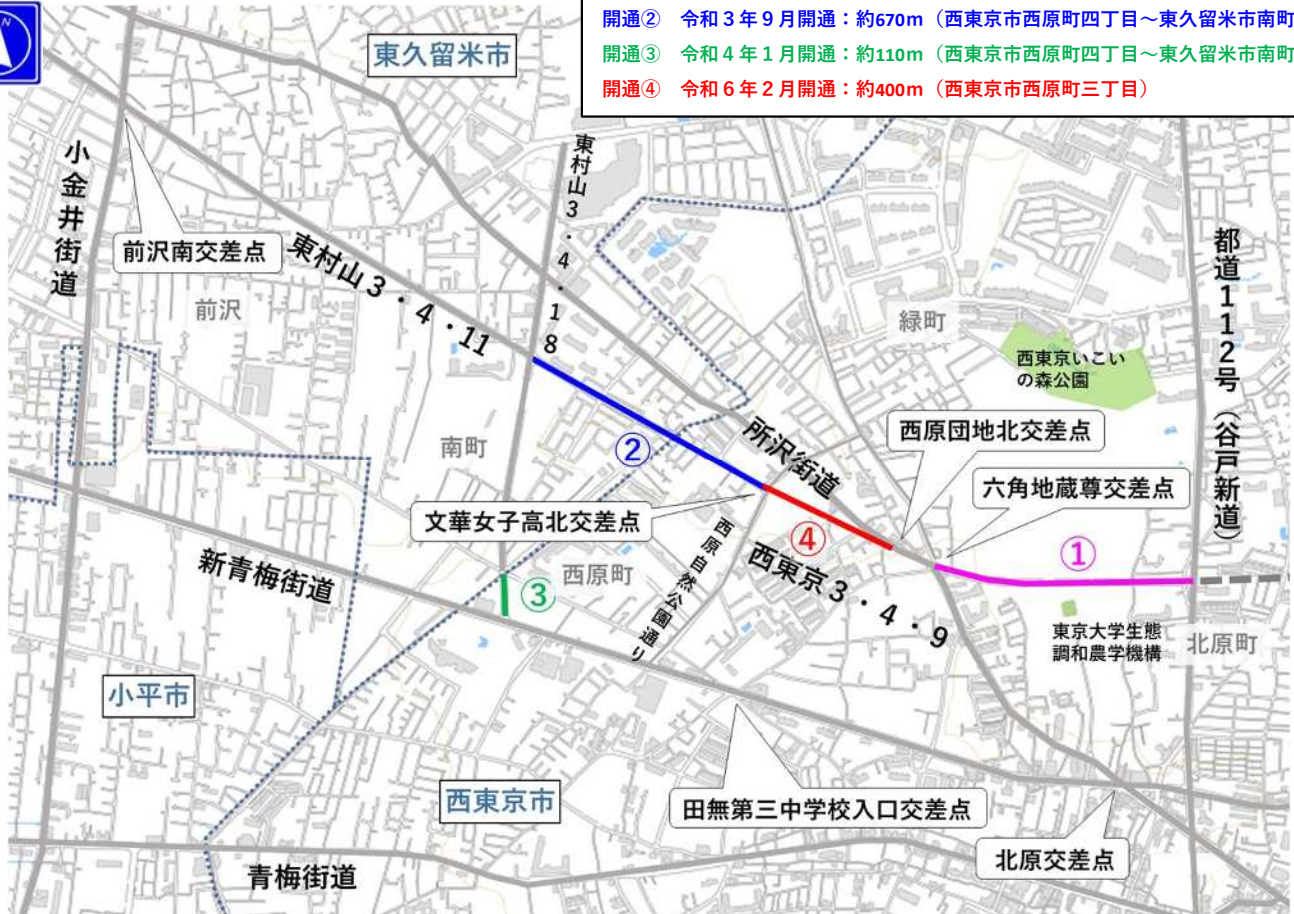
※ストック効果とは、整備された社会資本が機能することによって、整備直後から継続的に中長期にわたり得られる効果です。

問い合わせ先

北多摩南部建設事務所 工事第一課 設計総括担当 ダイアルイン 042-330-1837

北多摩北部建設事務所 工事第一課 設計総括担当 ダイアルイン 042-540-9515

【これまでの開通状況と交通量調査】



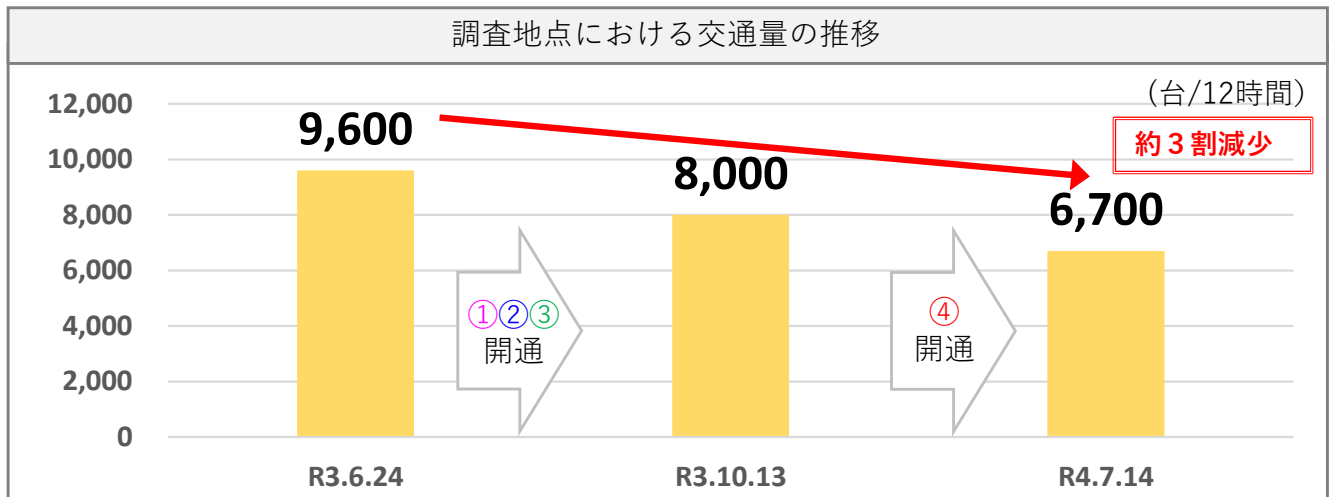
- 開通① 令和3年8月開通：約700m（西東京市北原町二丁目～西原町三丁目）
- 開通② 令和3年9月開通：約670m（西東京市西原町四丁目～東久留米市南町一丁目）
- 開通③ 令和4年1月開通：約110m（西東京市西原町四丁目～東久留米市南町二丁目）
- 開通④ 令和6年2月開通：約400m（西東京市西原町三丁目）

【整備効果1】所沢街道の交通量が減少



所沢街道の交通量は、①～④の開通前と開通後で約3割減少

調査地点における交通量の推移



【整備効果2】A 前沢南交差点～B 六角地蔵尊交差点の移動が円滑に

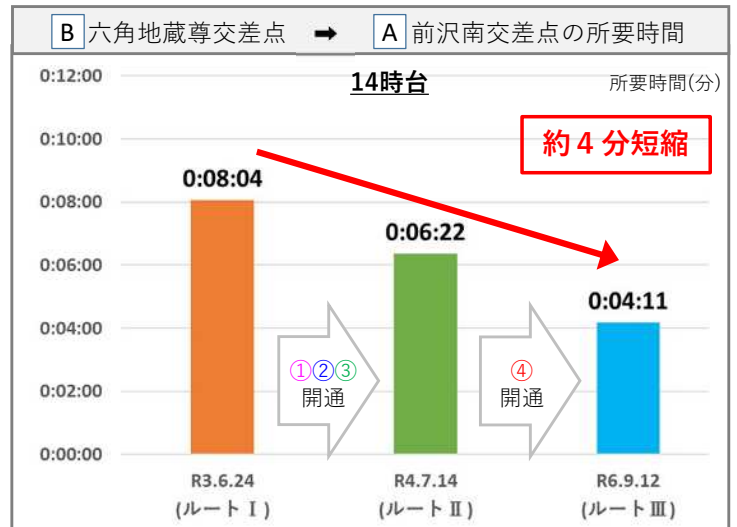
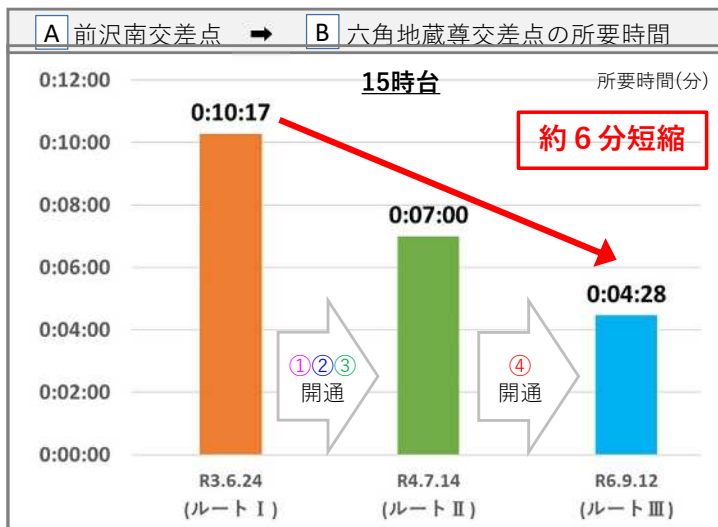


A 前沢南交差点～B 六角地蔵尊交差点の所要時間は①～④の開通前と開通後で、

- A 前沢南→B 六角地蔵尊：最大約6分短縮
- B 六角地蔵尊→A 前沢南：最大約4分短縮



所要時間が短縮し、移動がスムーズに



【整備効果3】北原交差点の渋滞が緩和

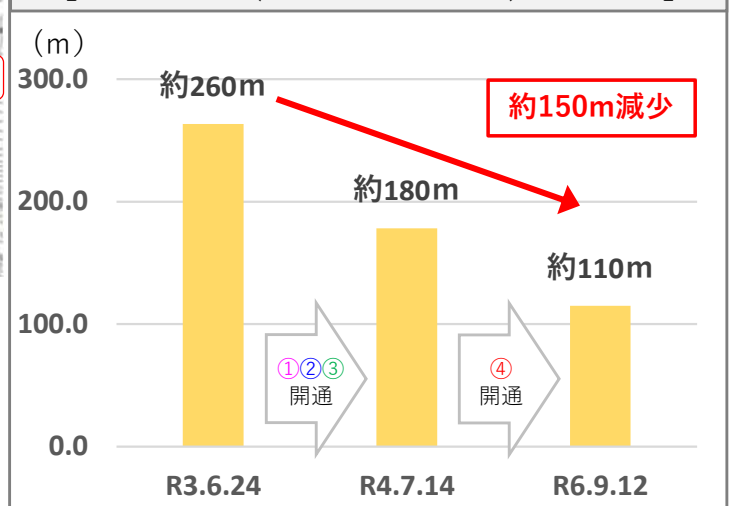


ピーク時（8時台）における北原交差点の渋滞長は①～④の開通前後で約150m減少



北原交差点の渋滞が改善

【北原交差点（所沢街道上り方向）の渋滞長】



渋滞長：1回の青信号で交差点を通過できなかった車列の長さ

※ 8時台における10分間隔の最大値を平均した値